

京都教育大学大学院 連合教職実践研究科の概要

— 2020 年度特別推薦入試 学内選考募集用：同志社女子大学 —

1. 名称

京都教育大学大学院 連合教職実践研究科 教職実践専攻（京都連合教職大学院と略す。）

2. 京都連合教職大学院設置の目的等

- ・教職大学院：教員養成に特化した専門職大学院（高度専門職業人を育成する大学院）
- ・2008 年度に全国で 19 大学院新設（2018 年度現在 54 校）
- ・学部卒院生と現職教員を対象とした、理論と実践を融合させた教育による、実践的指導力の高い教員の養成。研究者の養成を目的としない。
- ・京都連合教職大学院は、京都教育大学と京都地区の本学を含む 7 大学と連合方式で設置。

3. 教員組織

研究者教員：専任教員 12 名

実務家教員：専任教員 10 名（実務家教員とは、小中高での教員経験や教育委員会での実務経験を持つ教員で、京都府又は京都市の教育委員会から派遣される教員をいう。）

4. 学位等

- ・学位：教職修士（専門職）
- ・標準就業年限：2 年

5. 連合参加大学・関係諸機関

(1) 構成大学

- ・基幹大学：京都教育大学（設置の主体となる大学）
- ・連合参加大学：同志社女子大学、同志社大学、京都産業大学、京都女子大学、京都橘大学、佛教大学、龍谷大学（連合大学院の運営に参加、専任教員の派遣 等）

(2) 連携教育委員会：京都府教育委員会、京都市教育委員会

（実務家専任教員の派遣、現職教員の院生としての派遣、教職専門実習校との調整等）

(3) 連携協力校：京都市・宇治市・城陽市等の小学校 7 校、中学校 8 校、小中学校 2 校、高校 3 校

（教職専門実習受入校）

(4) その他の連携機関：京都府総合教育センター、京都市総合教育センター、児童養護施設、児童相談所、

京都府警少年サポートセンター、京都市教育相談総合センター、少年鑑別所など

（フィールドワーク・見学等、午前中に実施）

6. 入学定員

60 名

7. カリキュラム

(1) コース制

- ・次のいずれかのコースに所属する。各コースとも募集人数は約 20 名
授業力高度化コース
生徒指導力高度化コース
学校経営力高度化コース（現職教員に限られる。）

(2) 授業方法

- ・必修科目は原則として研究者教員と実務家教員の共同で担当される。
- ・必修科目は 1 クラス 20 名程度で構成され演習形式で実施される。
- ・フィールドワークが午前中に行われるため、授業は原則として 4 時限(14:35 開始)から 7 時限(21:30 終了)に開講される。

8. 大学院修了要件

共通必修科目	20 単位
コース必修科目	12 単位
選択科目	4 単位以上
教職専門実習（必修）	10 単位
計	46 単位以上修得すること

- ・教職専門実習（教育実習）については、現職教員でない者（以下、学部卒院生という。）は、1 年次後期 3 単位(15 日間)、2 年次前期 7 単位(35 日間)の計 10 単位が、全員必修となる。
- ・2 年次には、各コースの必修科目「高度化実践研究」で、修士論文に代わる修了論文を作成する。

9. 取得できる教員免許状

- ・小学校、中学校、高等学校教諭の専修免許状（幼稚園教諭、栄養教諭、養護教諭免等は対象外）

10. 入試

- ・学部卒院生は、授業力高度化コース、生徒指導力高度化コースにのみ出願できる。
- ・本年度末に 1 種教員免許(幼稚園教諭、栄養教諭、養護教諭免等を除く)取得(見込)者でなければ出願できない。
- ・1 種免許を取得できなければ、合格していても入学が許可されない。

(1) 特別推薦入試

- ・推薦枠：本学(連合構成各大学)から、学内選考を経て 4 名程度の学生を推薦できる。
- ・推薦対象者：今年度末本学卒業予定者及び、卒業後 3 年以内の本学卒業生。
(詳細は、別紙「特別推薦入試 本学内選考要項」を参照。)

(2) 一般入試

- ・学部卒(見込)で、かつ 1 種教員免許取得(見込)者。
(詳細は、別途「京都連合教職大学院 学生募集要項」を参照。)

(3) 現職教員対象入試（3コースとも募集）

- ・学部卒（見込）者の一般入試とは別に現職教員対象の入試が実施される。

(4) 入試日程（京都教育大学で実施・予定）

第1次：2019年10月27日（日）（募集要項6月中旬発表）

第2次：2020年 2月 8日（土）（募集要項12月頃発表）

1.1. 特別推薦入試本学内選考：本学から4名程度推薦（専願）

(1) 日程

本学内説明会	5月7日（火）16:45～17:45 R101 <今出川>
	5月15日（水）15:00～16:00 C172 <京田辺>
京都教育大学での入試説明会	7月6日（土） <藤森キャンパス>
本学内選考出願期間	7月3日（水）～7月16日（火）<免許・資格課>
本学内選考	8月7日（水）13:00 集合、13:15～筆記試験 <京田辺> 14:30～面接 <京田辺>
本学内選考合格発表（予定）	9月5日（木）（郵送により通知する）
京都教育大学への出願期間	9月26日（木）～10月1日（火）
京都教育大学での入試日	10月27日（日）
京都教育大学での合格発表	10月31日（木）

(2) 学内選考出願書類

- ・所定の出願票（志望理由書を含む。所属希望コースの第1希望第2希望を明記のこと。）

(3) 学内選考方法

- ・学内成績（教職課程科目の成績を含む。100点）
- ・記述式総合問題（教職に関する知識及び英語運用能力を問う内容を含む。60分程度、100点。）
- ・面接（教職に関する知識及び簡単な場面設定による指導力を問う内容を含む。1人30分以内、100点）

(4) 京都教育大学での入試選考方法

- ・小論文 200点：京都連合教職大学院の募集要項を参照のこと。
- ・口述試験 200点：京都連合教職大学院の募集要項を参照のこと。

(5) その他

- ・教員採用試験に合格した場合に限り、推薦日前日（9月19日（木）17:00（予定））までであれば京都連合教職大学院への推薦を辞退することができる。その場合、学内選考次点者を合格とし、京都連合教職大学院に推薦する。教員採用試験に合格した場合であっても、9月20日（金）以降は一旦推薦された者が推薦を辞退することや京都連合教職大学院の推薦入学試験を欠席することは認められない。

1.2. 一般入試

- ・京都教育大学大学院の募集要項を参照のこと。（6月中旬に発表予定）

1.3. 就労猶予

- ・教員採用決定者に大学院修了まで2年間就労を猶予する制度のある教育委員会がある。詳細は各自で責任をもって教育委員会に確認すること。

1.4. 学費年額（2019年度）

- ・入学検定料 30,000円
- ・入学金 282,000円
- ・授業料 535,800円

15. 科目 (2018年度)

共通必修科目

10科目20単位必修

「カリキュラム概論」「カリキュラムの開発と実践A・B」「教科指導の理論と課題」「教科指導実践演習A・B」「生徒指導の理論と実践」「生徒指導実践演習」「学級経営の実践と課題A・B」「学校づくりと学校経営A・B」「現代社会と学校教育」「教員の職務と役割」

コース必修科目

6科目12単位必修

(授業力高度化コース)

「授業コミュニケーション論」
「授業研究の理論と実践」
「授業力高度化演習」
「現代的教育課題の教材化と授業実践」
「授業力高度化実践研究Ⅰ、Ⅱ」

(生徒指導力高度化コース)

「望ましい集団づくりの実践と課題」
「児童生徒理解の理論と実践」
「教育相談・特別支援演習」
「生徒指導充実のための学校内外の連携」
「生徒指導力高度化実践研究Ⅰ、Ⅱ」

(学校経営力高度化コース)

「教育改革と教育行政・学校経営」
「教育法規の適用と課題」
「学校づくりとリーダーシップ」
「学校組織改善の理論と手法」
「学校の危機管理」
「学校経営力高度化実践演習」

選択科目

2科目4単位以上

「社会認識を培う授業の実践」「開発途上国の子どもと教育」「量的アプローチ授業分析研究」「情報機器操作法」「教育実践記録の国際比較」
「問題行動改善のための事例研究」「人格理解のための理論と臨床技法」「現代社会と子どもの育ち」「教員の意識と組織行動」
「地球・生命・環境と人間」「現代の学校と共生教育」「教育行政・学校経営改善実践演習」「学校事務と学校財務」「授業力熟達の理論と実践」
「教育評価実践論」「スクールアイデンティティの形成と教員の役割」「学校の魅力化と地域との連携」「小学校英語実践演習」
「「問い」から考える教育学」「学級づくりの歴史と現在」「平和教育論」「人権教育の課題と模索」「教育評価について考える」
「教師の成長について考える」「子どもと表現について考える」「学びと動機づけの理論と実践」「学校心理学総論」「認知発達と教育的支援」
「学校カウンセリングの理論と実際」「人権に基づく性の学習」「幼小接続について考える」「学校という組織を考える」
「保育の専門性について考える」

教職専門実習

2科目10単位必修

(学部卒院生：連携協力校で実習・実習先は小中学校に限られる)

「教職専門実習Ⅰ」(1年次後期、15日間、3単位)

「教職専門実習Ⅱ」(2年次前期、35日間、7単位)

教科専門科目の履修(修了必要単位に算入されない)

*京都教育大学大学院 教育学研究科で教科専門科目を年間8単位まで履修することができる。

学部科目の履修(修了必要単位に算入されない)

*教育学部の授業を教員免許状等取得目的であれば、年間20単位まで履修を認められることがある。

12単位を超える部分については、当該単位数に相当する授業料が必要。

「京都教育大学 連合教職大学院 説明会」 (参加申込不要) 藤森キャンパス
7月 6日(土)